

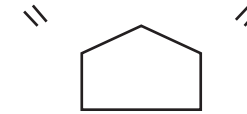
磐田市北部地域包括支援センターの新しいたてものについて

2014.03.25

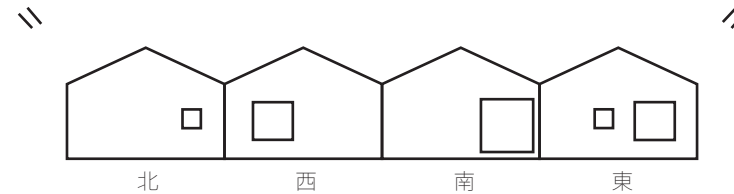
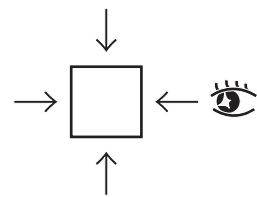


<外側のカタチについて>

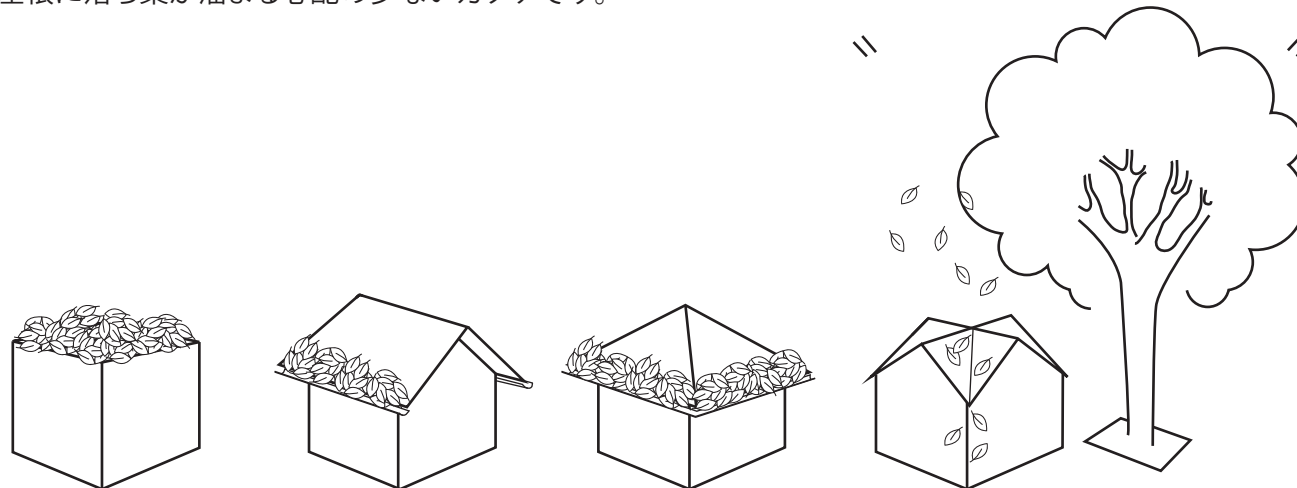
- 地域に密着した介護相談窓口施設として、住民のみなさんに親しみを感じていただけるよう、どなたにとっても馴染み深い「イエ型」としました。



- 4方から「たてもの」がよく見える立地のため、4面すべて同じ、この「イエ型」に見えるデザインとしています。東西南北どちらから来られても、認識しやすい裏表のないカタチです。



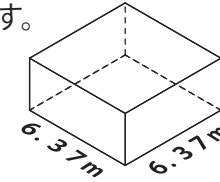
- また、建物の隣には大きなケヤキの木が立っていて、秋になると落ち葉がたくさん降ってきます。屋根が平らであったり、軒樋があると落ち葉が溜まってしまいがち。それを解消するのが、この4方「イエ型」のカタチです。4方「イエ型」とすることで、4隅に雨水が流れ落ちる屋根形状となり、軒樋を省略することができました。樋や屋根に落ち葉が溜まる心配の少ないカタチです。





<内側の空間について①>

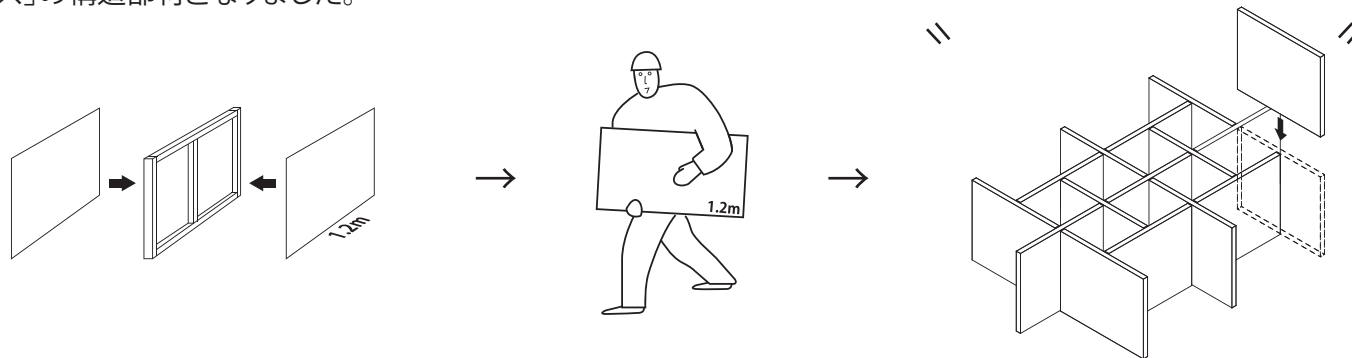
•この建物は、1辺が6.37m(3間半)の正方形、広さは40.58㎡(約14坪)の木造平屋建てです。



•一般的な木造在来工法を採用した場合、このセンターの規模になりますと室内空間にも柱を数本立てる必要があります。また同時にこれは、間取りがはっきり決まらなと設計を進めにくい工法とも言えます。

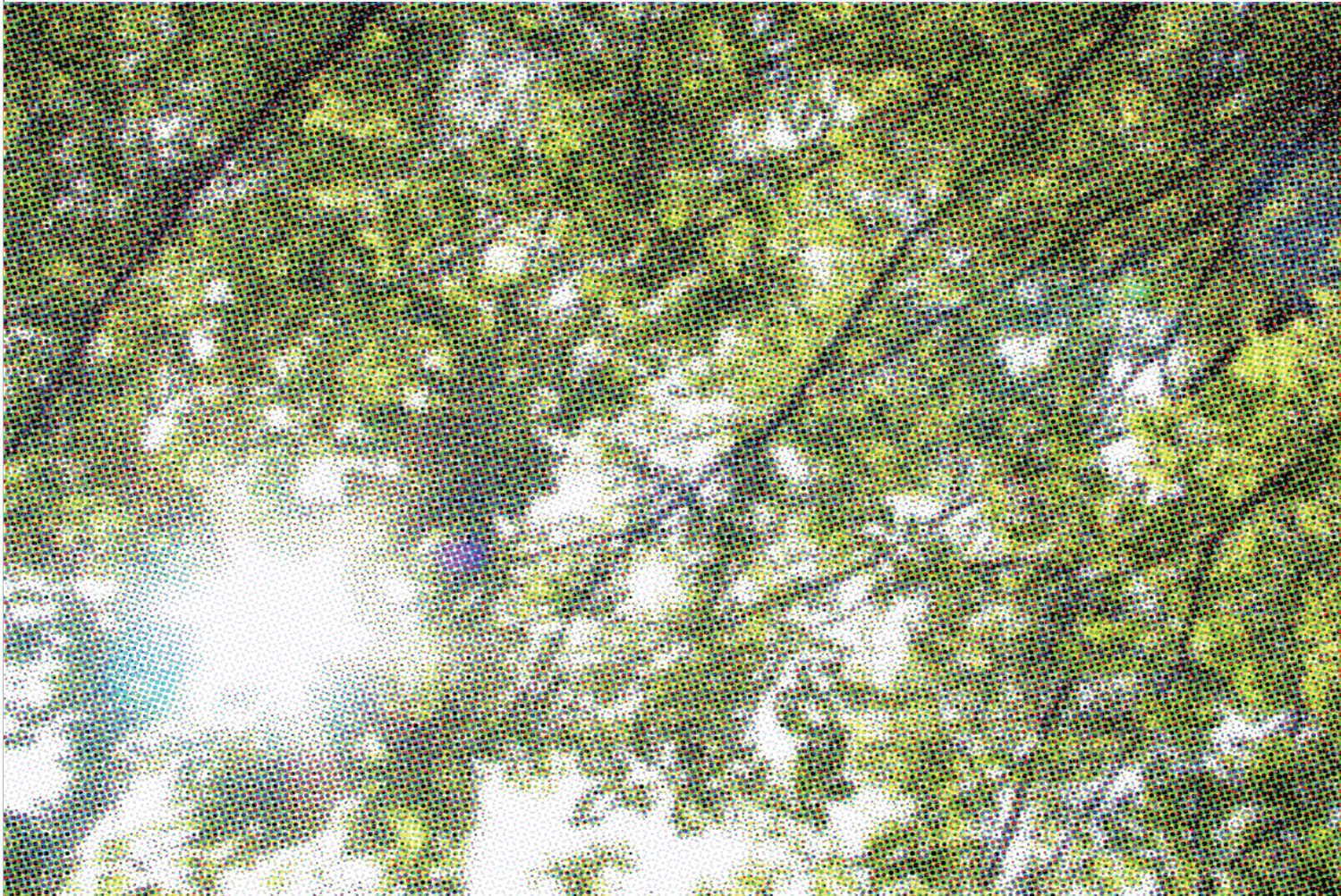
•このセンターでは、小規模ながらも事務スペースとして使い勝手が良く、また相談に来られた皆さんにも圧迫感のない心地よい空間を作ることと、少ない設計工期の中でスムーズに業務を進められることが求められました。この、2つのミッションをクリアするために、家具配置などの自由度が高く、また間取りの議論に左右されることなく設計を進めることができる木造ワンルーム空間と、そのための構造・工法を考えました。

•室内に入って上を見上げると、格子状に組まれた天井が目に飛び込んできます。これが、ワンルーム空間を形成する構造体です。6cm角材の骨組みを12mmの合板でサンドイッチしたパネルを互い違いの格子状(ラメラ状)に組むことで、木造で大きな空間を作れることを可能にしています。このパネルの素材はどこでもいつでも手に入る一般的なもの。それによってできたパネルは、施工性が良く、大工さんが一人で運べる「お手軽サイズ」の構造部材となりました。

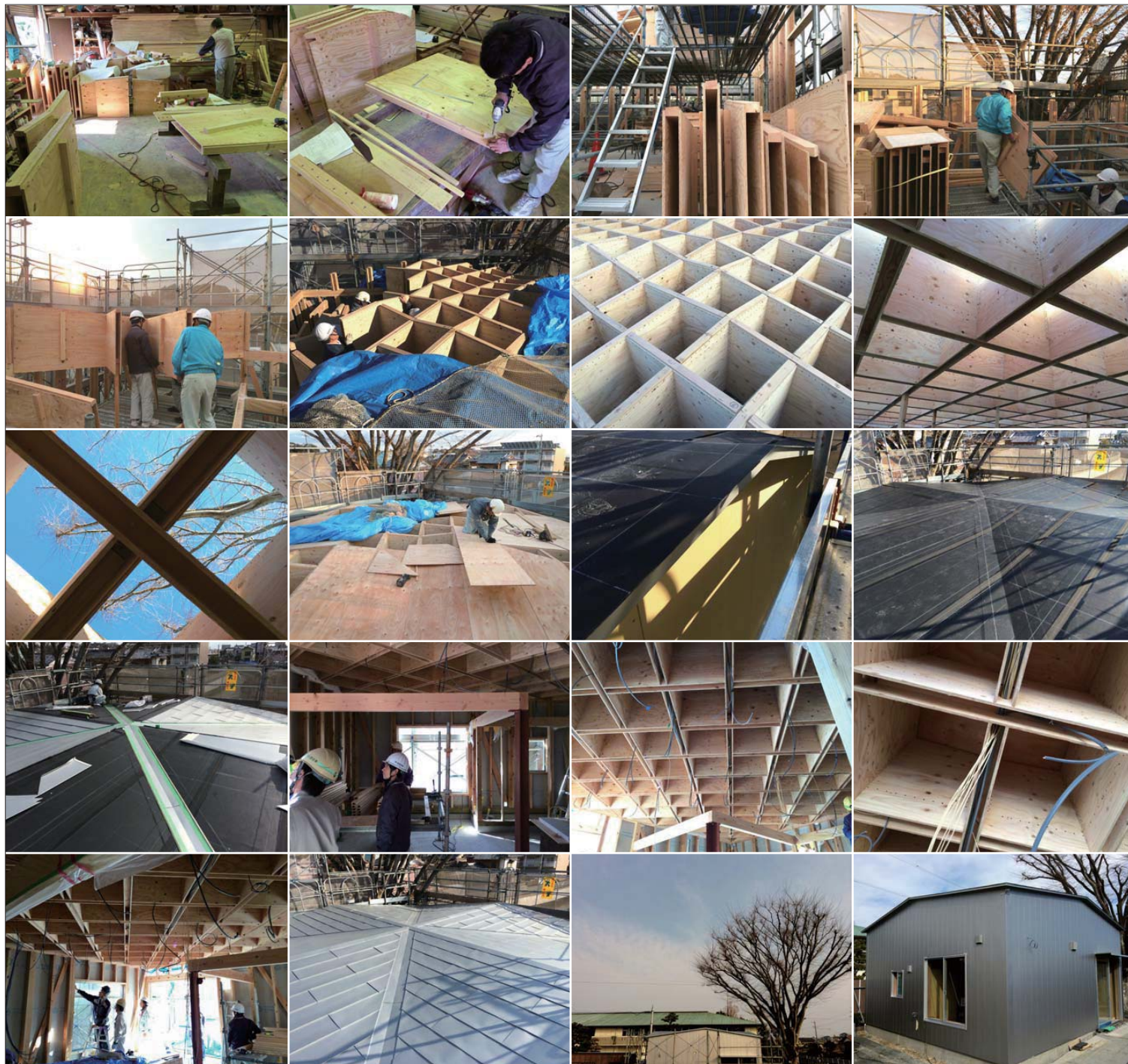


<内側の空間について②>

- こうして、小さな薄いパネルの集合体によって出来上がったのは、繊細でありながらも頼りがいのある格子天井に包まれた、優しい木造空間です。
- また、この格子天井の隙間に取付けた照明をオンにすると、室内は事務作業に適した均一な明りに包まれます。これは、隣に立つ大きなケヤキの下の木漏れ日をイメージした、優しく自然な印象を与える照明デザインです。もちろんエリアごとの部分点灯も可能です。







磐田市北部地域包括支援センター

所在地／磐田市見付地内

主要用途／事務所

設計

渡辺隆建築設計事務所

担当／渡辺隆 ・ 寺田尚人

構造設計／有限会社イーエス工房

担当／川口達次

施工

石川建設株式会社

担当／佐藤薫

構造・構法

主要構造・構法 木造在来工法

基礎 べた基礎

規模

階数 地上1階

軒高 3,040mm 最高高さ 3,835mm

敷地面積 750.97㎡

建築面積 40.58㎡

(建蔽率5.41% 許容60%)

延床面積 40.58㎡

(容積率5.41% 許容150%)

写真撮影

Kenta Hasegawa | OFP

担当／長谷川健太